

Adobe ColdFusion 2023

ライセンスの考え方

2023.6.

株式会社サムライズ
Adobe ColdFusion事業部

目次

1. ライセンスの種類
2. ライセンスの数え方
3. メーカーサポート
4. ダウングレードについて
5. ColdFusion Builder について

1. ライセンスの種類

ColdFusion 2023 には無償ライセンスと有償ライセンスがあります。

【無償ライセンス】

- ・ 体験版（トライアル、評価）
- ・ デベロッパーエディション（開発者版）

【有償ライセンス】

- ・ エンタープライズエディション
- ・ スタンダードエディション

1. ライセンスの種類 無償ライセンス

【無償ライセンス】

・ 体験版（トライアル版、評価版）

評価を目的とするユーザーのための無償ライセンスです。
エンタープライズエディションの機能が全て搭載されています。期間制限があり、インストールから30日たつと自動的にデベロッパーエディションに変わります。

・ デベロッパーエディション（開発者版）

開発者のための無償ライセンスです。
開発者がローカルPCで開発することを前提としています。
そのため接続可能なIPアドレスの数は2つに制限されています。その他にも幾つかの機能制限があります。詳細は下記サイトをご覧ください。

<http://cfassociates.samuraiz.co.jp/index.cfm/faq/cftech/about-coldfusion-developer-edition/>

※これら無償ライセンスの商用利用は認められておりません。

1. ライセンスの種類 有償ライセンス

【有償ライセンス】

- ・ **スタンダードエディション**
- ・ **エンタープライズエディション**

エンタープライズ、スタンダードともに、提供は「商用版」と「エデュケーション版（教育機関向け）」の2種類です。ガバメント版（公共向け）は提供されていないため、政府・関連団体や官公庁がエンドユーザの場合、ColdFusionでは商用版適用になります。

エデュケーション版（教育機関向け）ライセンスの対象の定義はメーカーサイトでご確認ください。
教育機関向け 購入対象チェック ページ

<https://helpx.adobe.com/jp/x-productkb/policy-pricing/cq081918191.html>

上記ふたつのエディションは以下のように位置付けられています。

スタンダードエディション

単一のサーバー上で動く小規模のアプリケーション・WEBサイト向け。

エンタープライズエディション

クラスタ化・仮想化された環境で動く中~大規模のアプリケーション・WEBサイト向け。



1. ライセンスの種類 有償ライセンスの価格

製品名	ライセンス価格	Adobe M&S (初年度) 価格
ColdFusion 2023 エンタープライズエディション 新規ライセンス (商用版)	1,291,900円	258,380円
ColdFusion 2023 スタンダードエディション 新規ライセンス (商用版)	339,900円	67,980円
ColdFusion 2023 エンタープライズエディション 新規ライセンス (エデュケーション版)	852,600円	170,520円
ColdFusion 2023 スタンダードエディション 新規ライセンス (エデュケーション版)	224,300円	44,860円

価格はすべて税抜き価格で価格は記載時点のものです。

最新の価格はサムライズの価格サイト<https://www.samuraiz.co.jp/coldfusion/price/>
をご覧ください。販売店までお問合せください。

2. ライセンスの考え方

ColdFusion 2023はコア単位ライセンスです。ライセンスについての考え方は、製品のバージョンごとに発行される EULA(製品使用許諾) で定義されます。

ColdFusion 2023 のEULA (日本語)

https://www.adobe.com/content/dam/cc/jp/legal/licenses-terms/pdf/Adobe_ColdFusion2023-ja_JP-20230328.pdf

ColdFusion 2023 では以下の2種類の環境が定義されています。

①物理環境の場合（仮想化環境ではない場合）

- ・「各物理の総コア数」に対してライセンスを購入。

②仮想化環境 および クラウド環境の場合

- ・「各仮想マシンの割り当てコア数」に対してライセンスを購入。

どちらの環境の場合も、1台につき、エンタープライズエディションは8コアまで、スタンダードエディションは2コアまで、が1ライセンスでまかなえます。

詳しくは次ページの一覧表をご覧ください。

2. ライセンスの数え方 一覧表

	物理環境の場合（仮想化環境ではない場合）	仮想化環境 および クラウド環境の場合
Ent	<p>各物理マシンの総コア数に対してライセンスを購入します。 1台の物理マシンにつき「8コア」につき1ライセンスが必要です。</p> <p>物理マシン1台につき必ず1ライセンスが必要です。 例：4コアのサーバが2台ある場合 → 2台を合わせた場合の総コア数は8コアですが、サーバ1台につき1ライセンスが必要であるため、合計2ライセンスが必要となります。</p>	<p>各仮想マシン（仮想サーバ、VMインスタンス、ゲストOS）に割り当てられた仮想コアの数に対してライセンスを購入します。 1台の仮想マシンにつき割り当てコア数「8」個ごとに1ライセンスが必要です。</p> <p>仮想マシン1台につき必ず1ライセンスが必要です。 例：4コアを割り当てた仮想マシンが2台ある場合 → 割り当てコア数は2台合わせて8個ですが、仮想マシン1台につき1ライセンスが必要であるため、合計2ライセンスが必要となります。）</p>
Std	<p>各物理マシンの総コア数に対してライセンスを購入します。 1台の物理マシンにつき「2コア」につき1ライセンスが必要です。</p> <p>物理マシン1台につき必ず1ライセンスが必要です。</p>	<p>各仮想マシン（仮想サーバ、VMインスタンス、ゲストOS）に割り当てられた仮想コアの数に対してライセンスを購入します。1台の仮想マシンにつき割り当てコア数「2」個ごとに1ライセンスが必要です。</p> <p>仮想マシン1台につき必ず1ライセンスが必要です。</p> <p>※ スタンダード版では、仮想環境およびクラウド環境はメーカーサポート対象外です。</p>

2. ライセンスの数え方 補足

●スタンバイ機（待機サーバ）に対するライセンス購入の考え方

ColdFusionでは、障害の際の復旧を目的としてコールド状態でスタンバイしているサーバに対してはライセンスを購入する必要がありません。

ホットスタンバイの場合はライセンスの購入が必要です。ホットスタンバイ用ライセンスのようなライセンスの提供はないため、通常の新規ライセンスが必要です。

●サーバを移行する場合のライセンスの扱い

ColdFusionのライセンスは、ハードウェアやIPアドレスに対してではなく、エンドユーザー（ライセンス管理者）に対して許諾されています。そのため、リプレイスやハードの故障などによりColdFusionを新しいサーバに入れ替える際は、旧サーバのライセンスを削除することを前提に、新サーバに移行することができます。

もし新サーバ移行にあたり、保有しているライセンス数では不足する場合には、新規ライセンスを追加で購入する必要があります。

2. ライセンスの数え方 補足

● 開発機や検証環境で使用するためのライセンス

開発や検証で必要とする機能が無償のデベロッパーライセンスで足りない場合はライセンスを購入する必要があります。

例えば、本番環境と同じように動作させる必要がある検証環境を立てる場合、無償のデベロッパーライセンスでは接続等に制限があり本番環境と同じ動作ができません。こういったケースでは有償ライセンスの購入が必要になります。

なお有償ライセンスを購入すると、本番用ライセンスとして使用するほか、一定の条件を満たす開発機・検証環境でも同時に使用することができます。条件はEULAで定義されています。

開発機・検証環境の条件：

ライセンス管理者の社内・内部ネットワークのみで使用・アクセスされ、目的をテスト、開発、ステージングを目的としていること。

（「ステージング」の定義：本番環境へのデプロイ前の、アプリケーションのテスト・レビュー）

使用できる本数：

エンタープライズエディション：保有本数にかかわらず使用できるのは1台のサーバに対してのみ。

スタンダードエディション：2ライセンス以上を保有していることが条件。

保有本数にかかわらず使用できるのは1台のサーバに対してのみ。

3. メーカーサポート

ColdFusion には「**Adobe プラチナ メンテナンス & サポート**」という有償のメーカーサポートが提供されています。FLP（アドビのライセンスプログラムの種類）で購入したライセンスにのみ、このメーカーサポートを付けることができます。

Adobe プラチナ メンテナンス&サポートの具体的な提供内容は以下の2つです。

- ・ **技術問い合わせ権利**

契約したサポートセンタへメールで技術問い合わせを行うことができます。

- ・ **最新バージョンへの無償アップグレード権利**

新バージョンがリリースされた日に有効なAdobe プラチナ メンテナンス&サポートを保有していると新バージョンのシリアルキーがアドビより自動配信されます。

CF2023 : <https://helpx.adobe.com/jp/x-productkb/policy-pricing/cq02030554.html>

<注意事項>

- ・ 「Adobe プラチナ メンテナンス & サポート」の購入は必須ではなく任意ですが、ライセンスの購入と同じタイミングでのみ購入が可能です。あとから「Adobe プラチナ メンテナンス & サポート」だけを購入することはできません。
- ・ サポートの提供期間は1年です。複数年一括購入には対応していません。
- ・ アドビ社の方針により、サポート開始日やサポート期間を指定したり調整したりすることができません。メーカーがライセンスを納品した日がサポート開始日となります。
- ・ 複数のライセンスを保有する場合は、サポートは全ライセンスに対して購入をするか、ひとつも購入をしないか、のどちらかに統一をする必要があります。



3. メーカーサポート 提供期間

ColdFusion では、**通常サポート**（Core support）と**特別延長サポート**（Extended support）の2種類のメーカーサポートがバージョンごとに設定されています。

製品名	Version	販売開始日	通常サポート 終了日	特別延長サポート 終了日
Adobe ColdFusion	2023	2023年5月17日	2028年5月16日	2029年5月16日
Adobe ColdFusion	2021	2020年11月11日	2025年11月10日	2026年11月10日
Adobe ColdFusion	2018	2018年7月12日	2023年7月13日	2024年7月13日
Adobe ColdFusion	2016	2016年2月16日	2021年2月17日	2022年2月17日

<https://helpx.adobe.com/support/programs/eol-matrix.html>

特別延長サポートは、ユーザーが最新バージョンへアップグレードするための猶予期間に提供されるサポート、と位置づけられており、通常サポートとは提供内容及び保守価格が異なります。

特別延長サポート期間に入ると、セキュリティパッチやバグフィックスのためのパッチ、HotFix類は提供されなくなります。保守価格は、通常サポート期間は「ライセンスの標準価格×20%」、特別延長サポート期間は「ライセンスの標準価格×25%」で算出されます。

通常サポートと特別延長サポートが混在する期間の保守費用は、それぞれの期間を日割で計算します。

このほか、更新保守の価格の算出には別途、更新回数による再計算のルールがあります。正確な保守費用を知りたい場合は販売店までお申し付けください。

3. メーカーサポート サポート対象

● サポート対象の一覧

ColdFusion 2023

<https://helpx.adobe.com/pdf/coldfusion2023-suport-matrix.pdf>

● 仮想化環境のサポート

仮想化環境はエンタープライズエディションでのみサポートされます。

スタンダードエディションでは仮想化環境はサポートされません。

ただしこれは、動作に問題があったためにサポート外になったわけではなく、メーカーがスタンダードエディションでの動作検証を行わないことにしたためです。仮想化環境でのスタンダードエディションの利用を制限したり禁止したりするものではありません。

サポートセンタへ技術問い合わせをしていた事象が、仮想化環境であることが原因であったことがわかった場合、エンタープライズエディションの場合は継続してサポートセンタで対応しますが、スタンダードエディションの場合はそこで対応終了となります。

4. ダウングレードについて

ColdFusion 2023ではColdFusion 2021へダウングレードして利用することが可能です。

ColdFusion 2023を購入する際、または購入後、

「ColdFusion 2021へのダウングレード申請」を行います。M&Sを購入している場合、サポートセンタでのサポート対象バージョンはColdFusion 2021になります。

「ColdFusion 2021へのダウングレード申請」は見積時に販売店にお申し付けください。

なおダウングレードにはいくつかの注意事項があります。

- ・ダウングレードは、ユーザーがそのバージョンのインストーラーを持っていることが前提となっているため、インストールメディア及びインストーラーの提供は行われません。
- ・ColdFusion 2023 を購入して ColdFusion 2021 にダウングレードする場合に適用される EULA（製品使用許諾）は、ColdFusion 2023 のEULAです。
- ・ダウングレード申請によって発行された ColdFusion 2021 の情報（ColdFusion 2021で使用するためのシリアルキーやダウングレードが完了日時の情報）は LWS（アドビのライセンス管理サイト）には掲載されません。ダウングレード完了時にお送りする「ColdFusion 2021ダウングレード申請書兼受領確認書」にのみ記載されます。



5. ColdFusion Builder について

過去に販売されていたColdFusion 2018および2021では、ライセンスを購入すると「ColdFusion Builder 2018」がバンドルされていましたが、「ColdFusion Builder 2018」はアドビでの開発が終了しました。そのためColdFusion 2023にはColdFusion Builderはバンドルされていません。

ColdFusion 2023の新たな開発エディタは「ColdFusion Builder for VS Code」です。Microsoft社の「Visual Studio Code」上で動作する拡張機能として無償で提供されます。ColdFusionのプログラムを開発・デバッグする上で便利な「コードアシスト」や「ファイル・プロジェクト管理」、「ラインデバッグ」など、従来のColdFusion Builderと同等の機能が使用可能です。



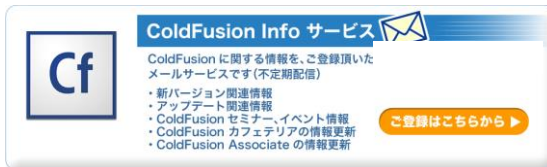
ColdFusion カフェテリア

ColdFusion の開発プロフェッショナルによる技術連載記事やサンプルプログラムを公開しています。



ColdFusion Associate

ColdFusion の開発会社・パートナー会社の情報と、ColdFusionの技術情報をFAQ形式で掲載しています。



ColdFusion Info サービス

ColdFusionのアップデート関連情報、セミナーイベント情報、新バージョン情報をお送りするメールサービスです。

株式会社サムライズ

Adobe ColdFusion事業部

Email : bu_a1@samuraiz.co.jp